

コンクリート工事における製造・施工のあるべき姿を目指して「コンクリート基本技術調査委員会報告会」が開催されました。

コンクリートの養生が重要であることは、技術者共通の認識であり、疑う余地はありません。コンクリートの打込み直後から十分に水分を与えて、適切な温度に保つことが、コンクリートの強度発現のみならず、耐久性向上にも有効であるとの認識が一般的です。

公益社団法人日本コンクリート工学会に立ち上げられたコンクリート基本技術調査委員会では、平成18年度当初からコンクリートの養生を基本技術の一つとして取り上げ、養生WGを設置して養生の在り方を議論してきました。

養生WGでは「養生」を対象として既往の知見を整理するとともに、最新の技術情報を収集し、実務に即した施工作業の基本技術を集約する活動を行ってきました。

このたび、上記内容を取りまとめた成果報告会が開催されました。

養生WGの報告内容

この報告書では、以下のとおりまとめています。

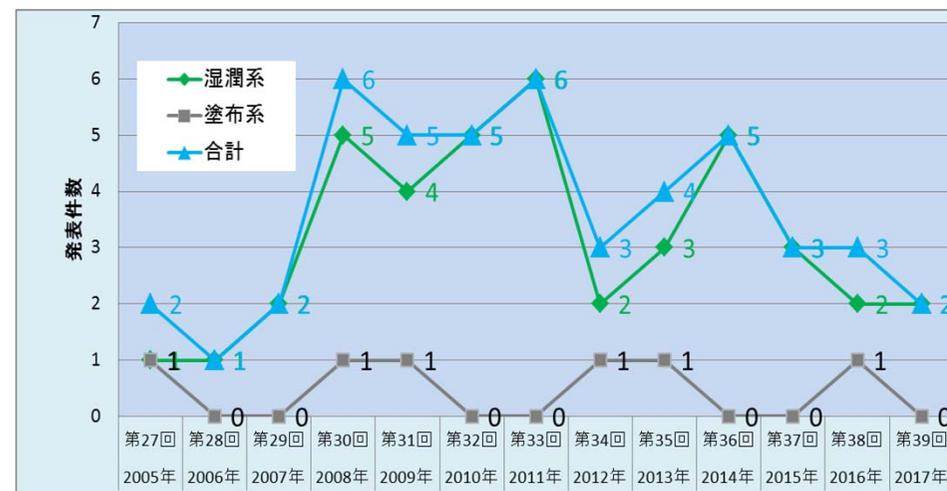
- 1章 セメントの水和反応における養生の役割
- 2章 コンクリートの品質に対する養生の役割
- 3章 養生の目的に応じた方法
- 4章 養生の計画と実施
- 5章 特殊な養生の事例
- 6章 養生のこれから

実構造物に対する養生は、コンクリート表面のかぶり部分の強度、耐久性を向上させる効果があります。湿潤効果が部材の内部まで及ばないからと養生を疎かにすると耐久性が低下します。近年は、標準的な技術によらず、耐久性を向上させる養生方法も採用され、ゆえに効果的な各種の養生方法が提案されています（序より抜粋）。

本書においては、アクアカーテンNewsで紹介してきました図・写真3点が掲載されています。また、NETIS登録にもとづくコンクリート養生工法の一覧でも紹介されています。

JCI年次大会論分数の経緯

コンクリート工学年次論文集で発表された論文を水分供給や水分逸散抑制するシート・マット系の材料(湿潤系)と、養生剤や含浸剤等(塗布系)に区別して推移を見てみました。10年くらい前から精力的な研究が進められ、今回の報告会を契機に、ようやく集約されてきた感があります。



JCI年次論文集に発表された論文数

「養生」は施工の基本です。コンクリートに本来の性能を発揮させましょう

アクアカーテンに関しては、アクアカーテン普及会のホームページ<http://www.aqua-curtain.jp> で詳しい情報を提供しています。